

2021年2月9日

各位

株式会社SMBCキャピタル・パートナーズ

株式会社巴川製紙所のA種優先株式取得に関するお知らせ

当社が管理・運営するSMBCCP投資事業有限責任組合1号は、2021年2月8日に、株式会社巴川製紙所（以下、「巴川製紙所」といいます。証券コード：3878）が行う総額20億円の第三者割当によるA種優先株発行（以下「本件増資」といいます。）の引受について合意し、契約を締結致しましたのでお知らせ致します。

1914年創業の巴川製紙所は、特殊紙製品を原点に、「抄紙技術」、「塗工技術」、「粘・接着技術」を活かして、特殊紙・機能性シート、エレクトロニクス・FPD関連の電子材料、プリンター用トナー等、多くの分野で国内外の産業を支えています。

プリンター用トナーの分野では独立系大手トナーメーカーとしてワールドワイドでの事業展開を行っている他、近年ではIoT、5G、AI、カーエレクトロニクス等のニーズに応えるべく、「熱・電気・電磁波」をコントロールする製品群「iCas（アイキャス）」

（Insulation、Conduction、Absorption、Sheetの頭文字をとったブランド名）を拡充して、様々なソリューションを提供する特殊紙及びプラスチック材料加工メーカーです。

昨年来のコロナウイルス感染症拡大による未曾有の経済活動停滞は、巴川製紙所グループにおいても需要の大幅な低迷を招き、折から取り組んできた構造改革の費用と併せて、財務悪化を招きました。

斯かる状況下、巴川製紙所はコロナ収束後も見据えて、更なる構造改革を図る一方、成長のための開発投資や安定した操業を維持するための事業用資産の維持更新投資等のための長期性資金を確保すると共に、財務の健全性を図ることが必要不可欠との認識から、長期的視点に立って資本金の導入を検討しておりました。

当社は本件増資引受が、巴川製紙所が目指す成長に向けた取り組みを加速させ、延いては長期的な株主価値維持・向上に資するものと判断しております。

当社は本件増資引受に当たり、SMBCグループの総合力を活用し、巴川製紙所のパートナーとして、人材派遣を含め多方面からのサポートを行い、巴川製紙所の企業価値向上と事業発展に取り組む所存です。

以上